




(平成27年度分)

団体名	ゆりのき台自治会
	
	

子どもを交えたAED訓練器を使った救急救命訓練 2例

(保健室に運ばれながらAEDを使うことなく死亡した児童の事件を例に命の大切さ、自分にできること、できないことと考え、救命のリレーに参加することの意義を知ってもらう)

右上：自治会主催防災訓練の様子

高学年（5・6年）対象、グループごとに分けての実習

5年次・6年次の2回にわたり、訓練を受けることにより、命の大切さを知り、AEDの操作に慣れる。この体験をして卒業してもらうのが私たちの目標。

右下・左上・左下：体育館に泊まろうでの様子

小さな子供にも命を救う一助ができるとロールプレイを通じて体感してもらう。

成長途中の子供にはレディアン胸を5センチ沈めることは難しい。

力がなくても救急車を呼ぶ、AEDの設置場所を知っているなど、君たちにできることはたくさんあると考えさせる。

また大人の助けを呼ぶことも大切と伝える。家族で話し合い、協力し合って救急隊員に引き渡すまでを設定を変えながらやっているところ。